

根室管内の国際交流

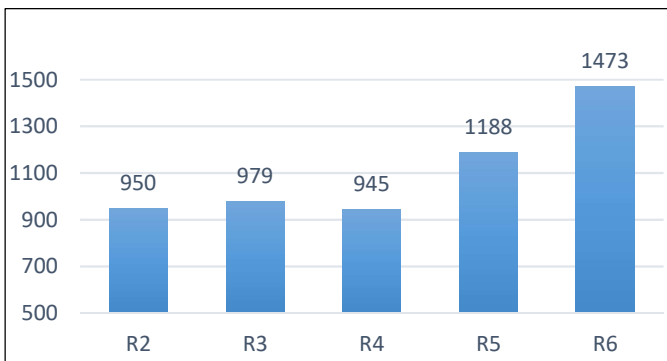
根室管内には多くの外国人在住者がおり、近年増加の傾向にある。中でも多いのは特定技能外国人や、技能実習生である。技能実習生は主に、食品製造分野・農業分野において受入が進んでいる。

中標津町では、令和6年8月にベトナム出身、キルギス出身の2名の国際交流員（CIR）が着任し、町内在住の外国人が住みやすいまちづくりに向けた環境整備、日本人と外国人の交流や多文化共生の推進に向けて、今後活躍が期待されている。

外国語教育については、管内すべての市町に語学指導助手（ALT）が配置されています。別海町では、別海高校酪農経営科の生徒が、カナダへの海外視察研修と農業実習を毎年行っています。

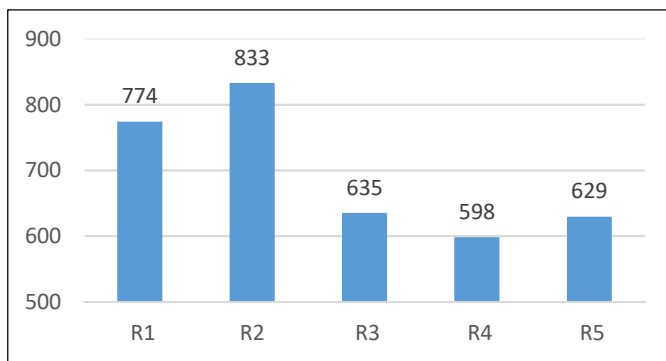
観光面では、海外からバードウォッチングツアーを迎えたり、羅臼町では知床世界自然遺産の英語、中国語及び韓国語のパンフレットを作成し、外国からの観光客に対応しています。

外国人在住者数の推移



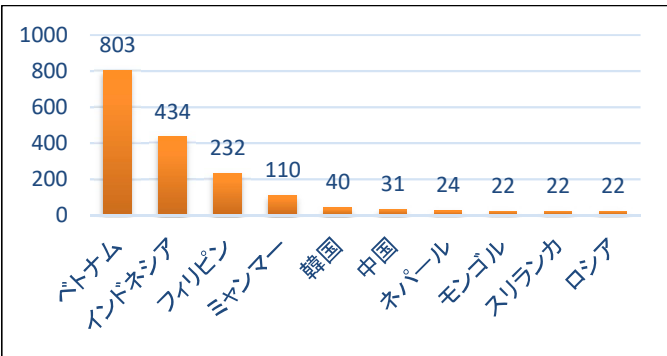
(北海道調べ)  
(基準日：毎年1月1日現在)

技能実習生の受入推移



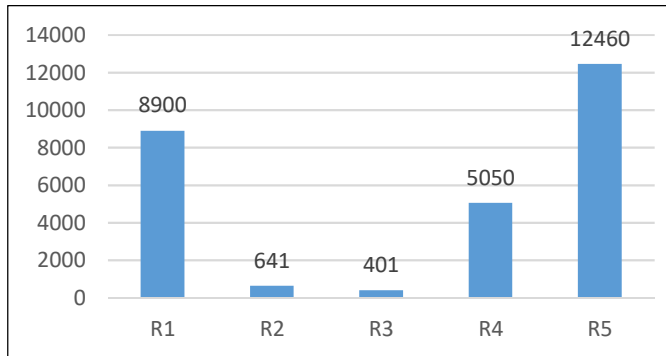
(北海道調べ)  
(R1年は1月1日から12月31日までの合計、以降は4月1日から翌3月31日までの人数)

国籍別外国人在住者数



(市町村調べ)  
(令和6年(2024年)12月末現在)

訪日外国人宿泊人数



(北海道調べ)  
(各年度・延べ人数)

JETプログラム

正式には、「語学指導等を行う外国青年招致事業」と称され、昭和62年8月から実施しています。

主な事業内容は、地方自治体が単独事業により外国青年を招致し、小学校、中学校及び高等学校における語学指導等を行うとともに、地域住民との交流を行います。

招致する外国青年は、国際交流員（CIR）と語学指導助手（ALT）及びスポーツ国際交流員（SEA）に分かれます。全道のJET参加者数は314名（内、根室管内10名）となっています。（令和6年（2024年）12月末現在 北海道調べ）

海外都市との交流状況

市町名	交流都市	提携年月日
根室市	アメリカ・アラスカ州・シトカ市	S50.12.19
	ロシア・サハリン州・セベロクリリクス市	H6.1.27
別海町	ドイツ・バイエルン州・バツサーブルグ市	S54.5.10

(北海道調べ)